

芸術
監督
クロス
トーク

M
I
K
I
K
O
町田樹
唐津絵理
2026.3.1(日)
14:00～15:30
唐津絵理
2026.4.12(日)
14:00～15:30

芸術監督クロストーク

Artistic Director's Dialogue

日本初の舞踊学芸員としてキャリアを築き、現在は愛知県芸術劇場の芸術監督を務める唐津絵理が、多様なジャンルの専門家を迎えて行うトークシリーズ。今回は、身体表現を軸に活躍するプロフェッショナルのお二人をお招きし、ダンスの話題にとどまらず、身体の捉え方、創作の背景、そして社会とのつながりなど、幅広い視点から掘り下げていきます。初めての方にも開かれた雰囲気、ここだけの濃密な対話をお楽しみいただけます。身体表現の世界に触れる貴重な時間をお見逃しなく。

2026.3.1



MIKIKO

演出振付家。ダンスカンパニー「ELEVENPLAY」主宰。Perfume や BABYMETAL の振付・ライブ演出をはじめ、ミュージックビデオ、CM、舞台など多岐にわたる作品を手がける。メディアアートの分野でも国内外から高い評価を受け、テクノロジーと身体表現の融合

をテーマに新たな表現を追求している。テクノロジーをエンターテインメントへと昇華させる独自の演出スタイルを確立し、ジャンルを超えた多くのクリエイターとのコラボレーションを行っている。

お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2010-16年あいとりエンナーレのキュレーター（パフォーミング・アーツ）、2020年より Dance Base Yokohama アーティストティックディレクター等も兼務。大規模な国際共同

製作から実験パフォーマンスまで、企画招聘した作品やプロジェクトは200を超える。愛知県芸術劇場にてプロデュースした作品の受賞歴多数、国内外ツアーも多数開催している。最近ではフランス、香港、アメリカ等の劇場やフェスティバルから招聘された。令和4年度（第73回）芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）受賞。著書に「身体の知性」等。



唐津絵理 Karatsu Eri
愛知県芸術劇場 芸術監督
（アーティストティックディレクター）・
常務理事



町田 樹 Machida Tatuki

1990年生まれ。スポーツ科学研究者。現在、國學院大学人間開発学部准教授。2020年3月、博士（スポーツ科学 / 早稲田大学）を取得。専門は、スポーツ文化論、身体芸術論、スポーツ&アーツマネジメント、知的財産法。主著は、「アーティストックススポーツ研究序説」（白水社、2020年）、「若きアスリートへの手紙」（山と溪谷社、2022年）。第33回ミズノスポー

ツライター賞最優秀賞、第16回（池田晶子記念）わたくし、つまり Nobody 賞など、著述活動に関して数多くの受賞歴がある。また、かつてフィギュアスケート競技者としても活動し、2014年ソチ五輪個人戦と団体戦ともに5位入賞、同年世界選手権大会で準優勝を収めた。現在はその経験を活かし、研究者の傍らで、振付家やスポーツ解説者としても活動している。

2026.4.12

日時

MIKIKO × 唐津絵理 2026年3月 18(日) 14:00~15:30

町田樹 × 唐津絵理 2026年4月12(日) 14:00~15:30

※各回開場は30分前

会場

愛知芸術文化センター アートスペースA(12階)

〒461-8525名古屋市中区東桜1-13-2

参加費

入場無料・要申込(先着順・定員各150名)

アクセス

・地下鉄東山線または名城線「栄町」駅下車、徒歩5分
・名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩5分

※オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由

お申込み方法



2026年1月20日(火)正午～

※入場整理番号付き



2026.3.1
MIKIKO
× 唐津絵理



2026.4.12
町田樹
× 唐津絵理

イベントページ

